学校番号	1007

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『日本史探究』　（実教出版）						
副教材等	『日本史史料一問一答　【完全版】2nd edition』（株式会社ナガセ） 『一問一答日本史 ターゲット 4000　三訂版』（株式会社旺文社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次に学習した歴史総合は近現代を範囲としたが、日本史探究は古代史からの学習となる。
- 資料等を分析し、時代ごとの特徴をまとめる。
- 時代ごとに、政治機構、地域社会、人々の暮らしが変遷していくが、その成り立ちについて学び、時代の特徴をまとめる。
- それぞれの時代の内容を多角的に分析し、考察する。

2　学習の到達目標

(1)　我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2)　我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比 較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察した り，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効 果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

(3)　我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の諸事情について、様々な要因や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の事象や伝統・文化について、多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察・構想した事柄を説明・表現する力を養う。	我が国の歴史の諸事情について、現代とつなげて考え、主体的に探究しようとしている。また我が国の歴史を他者に紹介できるようになる。また、他国の文化を尊重する大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部　原始・古代の日本と東アジア	第1章　日本文化のあけぼの 1.日本列島最古の文化 2.縄文時代の社会と文化 3.弥生時代の社会と文化	a:旧石器時代～弥生時代の歴史について、その特徴や性質に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b:旧石器時代～弥生時代の歴史について、遺跡の情報や中国の歴史書の文献資料にもとづき、多角的に考察した内容を、根拠を示して表現している。 c:旧石器時代～弥生時代の歴史について、当時の人々の暮らしや国家の成り立ちを考察することを通じて、特色を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート

		第２章　ヤマト政権の成立と古墳文化 1.小国の分立と邪馬台国 2.古墳の出現とヤマト政権 3.の成立 4.ヤマト政権の展開と統治の進展 5.古墳時代の生活と文化	a:ヤマト政権の形成や古墳の特色について、中国大陸や朝鮮半島の関係などに着目して理解している。 b:中国の歴史書の記事や古墳の出土品、仏教受容や遣隋使の派遣に関する資料をもとに多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、古墳文化の展開や当時の政治や仏教の広まりについて主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		第３章　律令国家の形成 1.古代国家の形成 2.飛鳥文化・白鳳文化 3.律令制度 4.奈良時代の政治 5.天平文化	a:律令にもとづいて行われた政治や、奈良時代の政治・文化について、その特色を理解している。 b:文献資料をもとに、土地制度の変遷や鎮護国家の思想について考察し、その結果を表現している。 c:奈良時代の政治・文化について、東アジアとの関係に着目して主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		第４章　古代の国家・社会の変容 １．律令体制再編期の政治と社会 ２．摂関政治の成立と支配体制の転換 3. 国風文化	a:平安時代の社会の変化や武士団の成長について、その特色を理解している。 b:摂関政治や国風文化、土地制度の変遷などについて多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、社会の特色を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート

	第２部中世の日本と世界	第1章　荘園公領制の成立と院政	a:院政の仕組みや平氏政権の台頭について、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 b:武士の台頭、武家政権の仕組みや土地支配について、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:古代との比較を通じて、中世社会の特色について追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		第２章　中世の国家・社会の展開 １．鎌倉幕府の成立と朝廷 ２．中世に生きる人々 ３．蒙古襲来と幕府の衰退 ４．鎌倉文化	a:鎌倉時代の諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 b:鎌倉時代の政治、流通、外交、文化について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:鎌倉時代の武家政治の特徴について、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
2学期		第３章　中世の国家・社会の変容 １．南北朝の動乱 ２．室町幕府の政治と外交 ３．室町社会の展開と応仁の乱 ４．室町文化 ５．戦国大名の分国経営	a:室町時代の諸制度や村の自治、戦国大名の登場について、諸資料を読み取り、情報を収集して理解している。 b:室町時代の政治、経済、村の自治、文化などを多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:室町時代の諸制度について、現代と照らし合わせながら、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
	第３部　近世の日本と世界	第１章　東アジアの世界の変容と天下統一 １．織豊政権 ２．天下統一の完成 ３．近世成立期の文化	a：織豊政権の特色や貿易・対外関係について、諸資料を読み取ることで理解している。 b:織豊政権の諸政策や海外とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：織豊政権の時代を通観する問いを表現しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート

		第2章　幕藩体制の成立と展開 １．幕藩体制の成立 ２．貿易の統制と対外関係 ３．近世社会のしくみ ４．幕府政治の展開 ５．経済の発展 ６．元禄文化と学芸の発展	a：幕藩体制の支配構造や身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 b:江戸時代の制度、文化等の諸制度を、資料を読み解くことで、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：幕藩体制下の社会・経済の仕組みについて主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		第３章　近世の国家・社会の変容 １．幕藩体制の動揺と幕政の改革 ２．欧米列強の接近と天保の改革 ３．近世文化の成熟と変容	a：幕府の諸改革の内容やその影響について理解している。 b:幕府政治の動揺や諸藩の動向、一揆の発生について、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：幕府の諸改革の成果や一揆の発生の動向について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 定期考査	定期考査 定期考査	提出ノート 提出ノート
	第４部　近現代の地域・日本と世界	第１章 開国から倒幕へ	a：欧米諸国の進出により、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 b：開国に伴う政治や経済、文化などの変化を多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：日本の開国を国際的な視点から考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		第２章　明治維新 １．明治維新 ２．文明開化	a：明治政府の諸政策と士族の反乱について、諸資料から情報を読み取って理解している。 b：諸制度の改革がもたらした社会構造の変化について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：明治維新がその後の時代にもたらした影響について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート

3学期		第３章　近代国家の形成 １．立憲国家への道 ２．議会政治の展開と日清・日露戦争 ３．産業革命と社会の変化 ４．近代文化の形成と展開	a： ・大日本帝国憲法の制定，条約改正，日清・日露戦争などを基に，立憲体制への移行，国民国家の形成，アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 ・産業革命の展開，交通の整備と産業構造の変容，交通の整備と産業構造の変容，学問の発展や教育制度の拡充，社会問題の発生などを基に，産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。 b： ・アジアや欧米諸国との関係，地域社会の変化，戦争が及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，近代の政治の展開と国際的地位の確立について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・欧米の思想・文化の影響，産業の発達の背景と影響，地域社会における労働や生活の変化，教育の普及とその影響などに着目して，主題を設定し，日本の工業化の進展，近代の文化の形成について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c：近代国家形成の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	提出ノート

		第４章　両大戦間の日本 １．第一次世界大戦 ２．政党政治の展開 ３．市民文化の展開	a：恐慌から戦争まで向かった要因について、諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 b：恐慌が発生した理由や、戦争に向かう日本の状況について、国際関係と照らし合わせながら、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：恐慌時の生活や、軍部の政治的台頭がもたらした影響について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		第５章　十五年戦争と日本 １．満洲事変 ２．日中戦争 3. アジア・太平洋戦争（太平洋戦争）	a：軍部の台頭と対外政策，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容を理解している。 b：国際社会やアジア近隣諸国との関係，政治・経済体制の変化，戦争の推移と国民生活への影響などに着目して，主題を設定し，第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c：十五年戦争の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	提出ノート

		第６章　戦後日本の形成 １．占領と民主改革 ２．独立と日米安保体制の形成 ３．高度経済成長下の日本	a：占領政策と諸改革，日本国憲法の成立，平和条約と独立の回復，戦後の経済復興，アジア諸国との関係，高度経済成長，社会・経済・情報の国際化などを基に，我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係，現代の政治や社会の枠組み，国民生活の変容を理解している。 b：第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違，冷戦の影響，国民生活や地域社会の変化などに着目して，主題を設定し，戦前と戦後の国家・社会の変容，戦後政治の展開，日本経済の発展，第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c：戦後日本の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	定期考査	提出ノート
		第７章　グローバル化のなかの現代日本 １．「国際化」する経済大国 ２．新たな世紀の日本へ	a：社会・経済・情報の国際化などを基に，政治・経済や対外関係，現代の政治や社会の枠組み，国民生活の変容を理解している。 b：冷戦の影響，グローバル化の進展の影響，国民の生活や地域社会の変化などに着目して，主題を	定期考査	定期考査	提出ノート

			設定し，政治の展開，日本経済の発展，国際社会における我が国の役割について，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c：現代日本の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度